

各位

株式会社iPSポータルとのサブライセンス契約締結のお知らせ

C4U株式会社（以下「C4U」といいます。）と株式会社iPSポータル（以下「iPSポータル」といいます。）は、C4Uが独占的通常実施権を有するCRISPR-Cas3技術に関する特許につき、iPSポータルに対して日本国内での非独占的実施を許諾する特許権実施許諾契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

C4Uの基盤技術であるCRISPR-Cas3技術は、C4Uの創業メンバーである東京大学医科学研究所先進動物ゲノム研究分野の真下知士教授、大阪大学微生物病研究所の竹田潤二招へい教授らの研究成果を基に開発されたCRISPR-Cas3を用いた新しいゲノム編集技術です。CRISPR-Cas3技術は、オフターゲット変異が少なく安全性が高いことやターゲット遺伝子とその周辺を広く削ることができるといった特徴を有し、現在世界中で研究が先行しているCRISPR-Cas9の複雑な特許状況に影響されない、これに対抗し得る有望なゲノム編集技術として注目を浴びています。

C4Uは、CRISPR-Cas3技術に関する特許につき国立大学法人大阪大学より再実施許諾権付独占的通常実施権許諾を受け、遺伝性疾患に対する新規の遺伝子治療法の開発及び同技術のプラットフォーム展開を目指しております。

iPSポータルは「人間の尊厳、新たな価値の創造」を企業理念とし、iPS細胞をはじめとした幹細胞技術やゲノム編集技術などの新しい技術を取り入れたCell-Techによる創薬や再生医療等の研究及び事業化促進を目指しており、研究支援・試験受託、開発支援・事業支援などの事業を行っております。

本契約締結により、C4UはiPSポータルより契約一時金を受け取ります。また、iPSポータルが本件特許を利用した細胞の遺伝子改変受託サービスを受注した際には、C4Uはランニングロイヤリティを受け取りますが、さらなる契約の詳細および具体的な対価については開示しておりません。

本件に関するiPSポータルからの発表は以下をご覧ください。

[C4U株式会社との特許実施許諾契約締結のお知らせ](#)

<用語の解説>

ゲノム編集技術： DNA切断酵素と人工的にデザインしたRNAなどを細胞に導入し、ゲノムの局所を選択的に切断、改変する技術です。

CRISPR-Cas3： CRISPR-Cas9同様に二本鎖DNAを切断しますが、crRNA（ガイド）認識配列が長い（27塩基のガイド配列）ことから、特異性が高く、オフターゲット変異（狙った部分以外の変異）が少ない、より安全なゲノム編集ツールです。また、大きな欠失を起こすことも可能なため、遺伝子の改変に加えて機能を失わせることも得意としています。

CRISPR-Cas9： 現在広く利用されるゲノム編集技術の一種で、Cas9がガイドRNAと結合し、ガイドRNAの一部（20塩基のガイド配列）と相補的なDNAを選択的に切断します。ガイド配列を変更することにより、様々な塩基配列をもつDNAを選択的に切断することができます。

<本件に関するお問い合わせ先>

C4U株式会社 管理部

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番8号

大阪大学テクノアライアンスC棟7階

TEL/FAX：06-6369-7180

E-mail：info@crispr4u.com

株式会社iPSポータル

TEL：075-707-1057

e-mail：RSD@ipscell-portal.com

HP：<https://ipsportal.com/>

以上